



建国と制憲、そして国民の誕生

金聖昊 (Sung Ho Kim)

(延世大学校政治外交学科・教授 / 慶應義塾大学法学部・特別招聘教授)

日時：2017年5月19日(金) 17時30分～

場所：同志社大学 室町キャンパス 寒梅館 6階 大会議室

※講演はコリア語でおこないます（通訳・翻訳はございません）。

大統領の弾劾と選挙で韓国の政治はいつになく熱くなっていますが、そうした状況下だからこそ、歴史的・思想的な観点から冷静に今日の状況を見つめ直す必要があるでしょう。このたび、同志社コリア研究センター(DOCKS)では、政治思想研究者の金聖昊さんをお招きして、韓国の憲法制定過程を思想的に考える講演会を開催します。金聖昊さんはシカゴ大でPh.Dを取得し、*Max Weber's Politics of Civil Society* (2004)という著書をもつ政治理論家ですが、最近、咸在鶴(Chaihark Hahm)さんとの共著で*Making We the People: Democratic Constitutional Founding in Postwar Japan and South Korea* (2015)という刺激的な著書を刊行しておられます。同書で金聖昊さんらは、大韓民国と日本国の憲法(the Constitution)の制定過程と「国民(the people)」の構築(constitution)に関する比較思想的な議論を展開しています。今回の講演会では、そのエッセンスを語っていただきます。ふるってご参加ください。